



iki iki いきいき

Pick Up !

・感染症予防のおはなし ・外来患者様満足度調査結果

冬

vol.21
平成30年1月発行



「杉田玄白コーナーにて 小浜病院初期研修医」

病院 理念

地域住民の皆様とともに歩み、愛され、信頼される病院

基本 方針

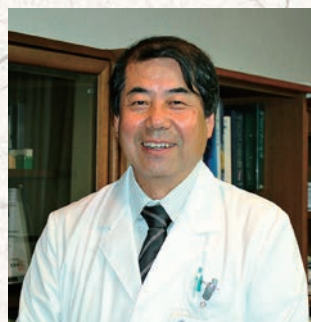
- 1) 杉田玄白の進取の精神を受け継ぎ、良質・最新の医療を提供します。
- 2) 医療連携を推進し、中核病院として地域のニーズに応えます。
- 3) 安全・安心な医療サービスに努めます。
- 4) 公共性に配慮しつつ、健全な経営をめざします。
- 5) 教育・研修を充実させ、優れた人材を育成します。

==== 病院長より新年のご挨拶 ====

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはさわやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は当院の運営に関しましてご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。また、昨年の台風21号、22号により被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、当院は明治16年に開設されて以来、地域の中核病院として135年の歴史を歩んでまいりました。これもひとえに地域の皆様、先輩方各位のご協力やご尽力の賜物と感謝いたしております。1月4日には開設記念式典を行い、職員一同、改めて心をつなげたところでございます。



私が小浜病院に着任し、あっという間に1年余りが過ぎました。本年は新しいことに取り掛かりたいと考えています。まず、病棟の再編成を手掛け、地域の皆様が入院しやすく、治療に専念していただけるようにしたいと考えております。目標の達成には様々な問題点が予想されますが、一つ一つ解決していくつもりです。

また、人間ドックの受診枠を拡大し、病気の早期発見・早期治療に努めます。当院ではPET・CTを利用したストレスの少ないがん健診も行っておりますので、皆様の健康づくりの一助となれば幸いです。さらに、小浜病院健康フェアを開催し、さまざまな分野で健康増進、早期治療のための知識の普及を進めてまいります。

皆様にご心配をお掛けしております医師不足の問題につきましても、関係各所との連携を強化し、引き続き若手医師の育成にも力を入れ、充実した医療を提供できるよう努力いたしたいと思っております。

国の医療政策では病床数の削減と医療機能の分化が推進されておりますが、当院は、若狭地方における地域唯一の中核病院として、救命救急センターを中心とした急性期医療から慢性期医療まで、幅広い医療機能を提供するという役割を担っていかなければならないと考えております。今後も地域の開業医の先生方のご協力をいただきながら、皆様に安心、安全な医療を提供できるよう尽力いたしたいと思っております。

患者様や地域の皆様、開業医の先生方からのご意見を真摯に受け止め、職員一丸となって努力してまいりますので、さらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成30年1月

病院長 小西 孝



新任 Dr.
紹介



くぼ た やす のぶ
窪田 康信

内科・循環器内科

11月より内科医師として勤務しております。出身は大阪です。平成元年に徳島大学医学部を卒業し、京都大学医学部附属病院循環器科に入局しました。専門は循環器科です。小浜といえば、10年前の朝ドラ「ちりとてちん」の登場人物のセリフで「～でーエー」というセリフを思い出し、小浜の地元の方の会話を聞いて「おんなじなんや～」と思い、親近感を覚えました。循環器科を中心に、地域の皆様に貢献できるように精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

その手、本当にきれいですか？

私たちの身の回りには、目に見えないさまざまな病原微生物が潜んでいます。健康な人なら抵抗力があるため、感染から身を守ることができますが、病気の人は抵抗力が弱くなっているため、普段ですと何ともないような病原微生物に感染しやすくなり、感染症にかかってしまうことがあります。

感染が成立するためには「感染する経路」が必ずそこにあります。特に人の「手」は、人間にとって大変便利な道具のひとつですが、あらゆる場所で共通の物（ドアノブ、スイッチ、手すりなど）に触れることで、手に病原微生物が付着して感染することがあります（接触感染）。また、咳やくしゃみをした時に飛び散ったしぶきが、鼻や口の粘膜から入って感染することもあります（飛沫感染）。こうした感染から身を守るため、「手洗い」や、咳、くしゃみが出るときにマスク着用するといった、「咳エチケット」が大変重要になります。病院内には、感染しやすい抵抗力が弱った患者様がたくさんおられるため、感染対策はとても重要であるといえます。

感染症予防のおはなし

院内感染対策には4つの目的があります。1つは、患者様を感染から守ること、2つ目は、患者様だけではなく病院職員も感染から守ること、3つ目は、本来かかる必要のない感染症を防ぎ、限られた医療資源を適正に使用できるようにすること、4つ目は、医療の質を改善することにあります。このような目的を達成するため、当院では専門の感染対策チームが中心となり、職員一丸となって院内感染対策に取り組んでおります。その一環として、定期的に院内感染対策講演会を開催したり、手指衛生の研修会を行ったりして職員の意識向上、知識や技術の向上に励んでおります。特に手洗い（手指衛生）は、感染対策の基本中の基本でもあり、すべての医療行為においては、『手洗いに始まり、手洗いに終わる』ことが感染防止につながります。今後も職員一丸となって感染対策に取り組んでいきたいと考えております。



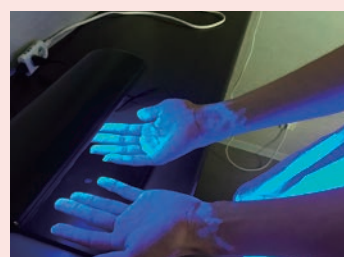
院内感染対策講演会の様子①



院内感染対策講演会の様子②



手洗い演習の様子



洗い残しのチェック
(蛍光塗料材を使用した演習)

インフルエンザの感染予防

インフルエンザは、インフルエンザに感染した人の咳やくしゃみの際に飛び散るしぶきを、鼻や口から吸入することで感染します（飛沫感染）。また、ドアノブなどの環境表面についたインフルエンザウイルスへの接触により、鼻や口などの粘膜などを通して感染することもあります（接触感染）。インフルエンザの感染予防は、十分な手洗いとマスク着用在が効果的です。当院に来院の際には、感染予防のた

感染防止対策室(感染対策チーム)
感染管理認定看護師

刀根正彦

め、院内に備え付けられているアルコール手指消毒剤を使用して手指消毒を行ってください。また、咳やくしゃみがある方はマスクを着用の上、ご来院ください。各玄関、本館1階エレベーター前にアルコール手指消毒剤を設置しておりますので、手指消毒にご協力をお願いいたします。マスクが必要な方は、当院売店または正面玄関前にマスク自動販売機がございますので、そちらでお求めくださいますようお願いいたします。



正面玄関前
(マスク自動販売機・手指消毒剤)



東側玄関前
(手指消毒剤)



本館1階EV前
(手指消毒剤)

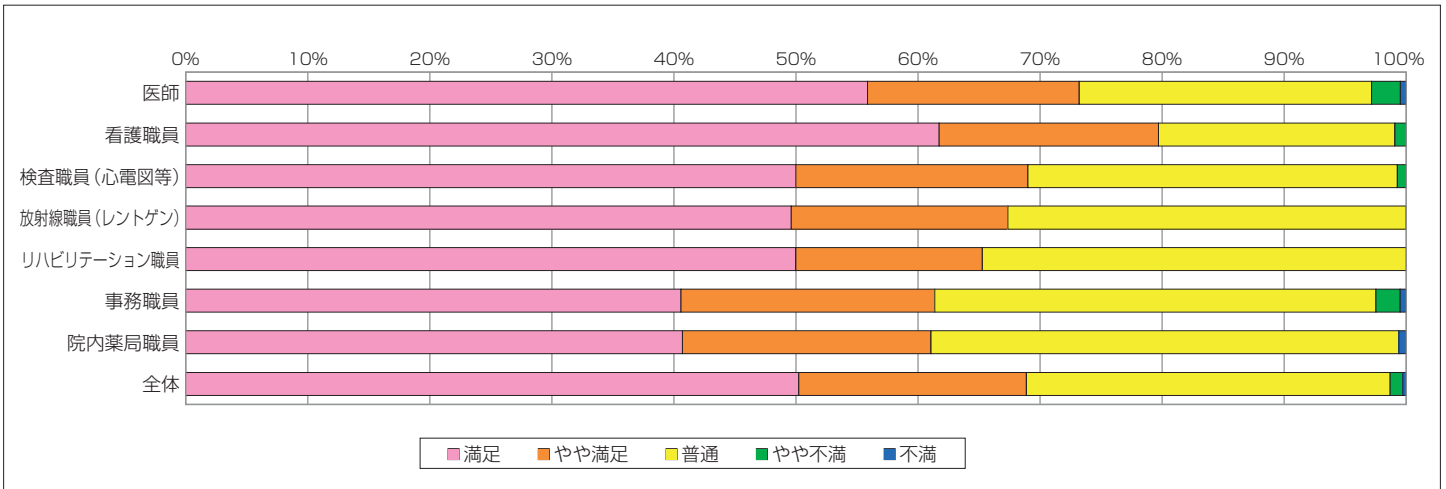


平成 29 年度 外来患者様満足度調査結果

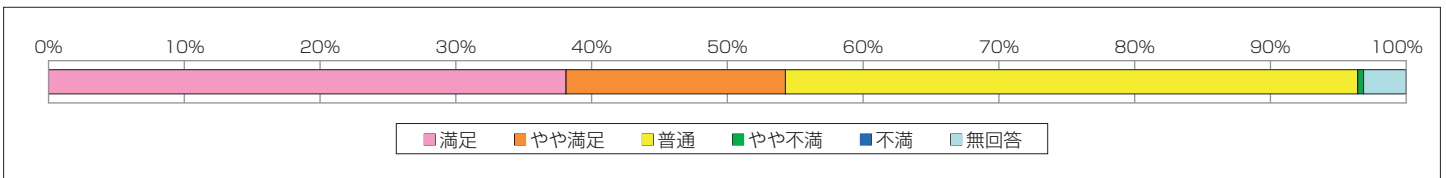
実施期間 平成29年8月22日(火)～8月24日(木)

当院では、ご利用される皆様の率直な声をお聞きし、より良い病院づくりに役立てるため、定期的にアンケート調査を行っています。今回は、上記期間内に外来を受診された患者様を対象に行い、227名の方からご回答いただきました。その集計結果の一部をご報告します。

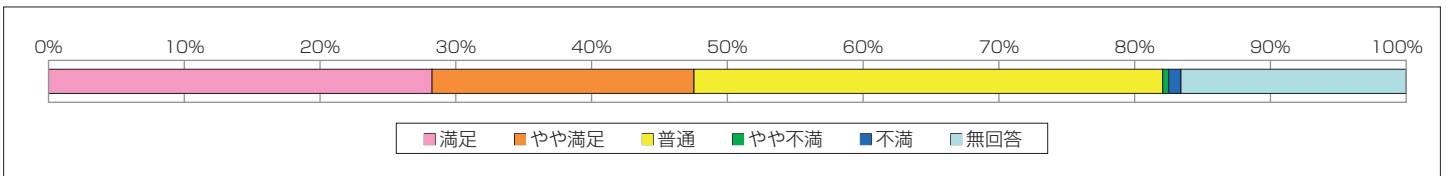
* 職員の対応はいかがでしたか



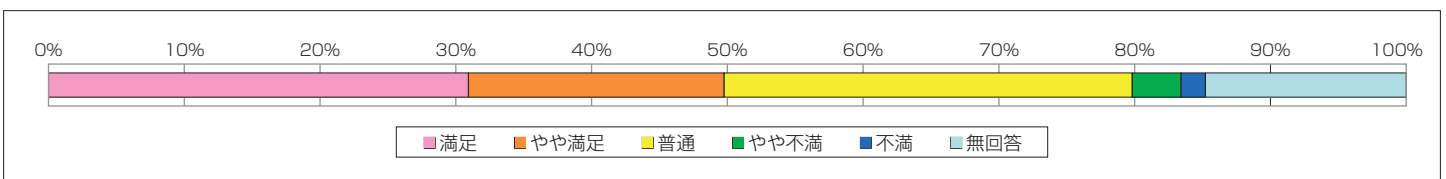
* 職員の服装や髪形に好感がもてますか



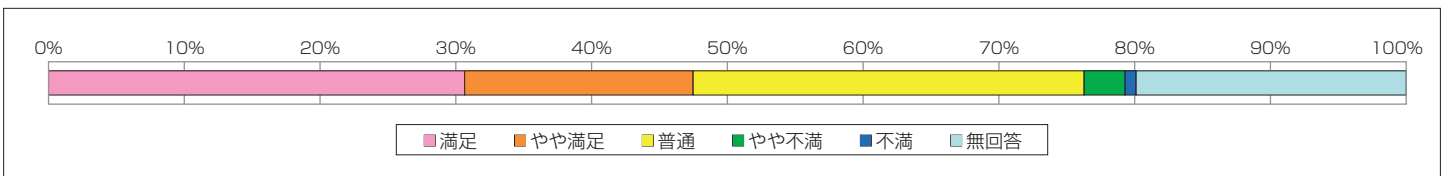
* 患者様の知る権利(検査データ等)は守られていると思いますか



* 患者様のプライバシーは守られていると思いますか



* 病院全体の満足度



患者様からの ご意見

- ・予約なのに待ち時間が長すぎる。待ち時間が長いのに診察時間は短い。
- ・男性職員で威圧的な対応をされる時があるので怖い時がある。
- ・男性職員の対応が冷たく感じた。(女性の方は良い。)
- ・職員同士でプライバシーにかかわる事を話していて不満。
- ・医師の異動に大きな不満がある。医師は毎年移動が多くて、診察に来るたび担当医が代わるので信頼性がない。また、理解しあえたと思ったら、すぐにいなくなるので、メンタル面でさびしく、再び信頼し合える医師を見つけられるか不安になる。
- ・会計が出来たかどうか、いつも分かりにくい。
- ・看護職員、自分のペースで早口で話している。
- ・全体的に親近感があって良い。
- ・入院もしたが、看護師はよく話を聞いてくれた。

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。皆様からいただきましたご意見を真摯に受けとめ、改善すべき点につきましては、十分に検討し、より良い医療・サービスを提供できるよう努めてまいります。ご協力ありがとうございました。

